

第6学年2組 社会科授業案

第4時限 6年2組教室 授業者 竹下 直希

1 単元 武士の世の中へ

2 ねらい

- 武士の暮らし、源平の戦い、鎌倉幕府の始まり、元との戦いとそれらにかかわる人物の働きや代表的な文化遺産について関心をもち、すすんで調べようとしている。(関心・意欲・態度)
- 武士による政治が始まったことやそれらにかかわる人物の願いや働き、代表的な文化遺産の意味などについて、思考・判断したことを適切に言語などで表現することができる。(社会的思考・判断・表現)
- 武士の暮らし、源平の戦い、鎌倉幕府の始まり、元との戦いとそれらにかかわる人物の働きや代表的な文化遺産について、調べたことやわかったことをノートや新聞にまとめることができる。(観察・資料活用の技能)
- 武士による政治や鎌倉幕府の始まり、元との戦いとその影響について理解することができる。(社会的事象についての知識・理解)

3 構 想

(1) これまでの子どもの学び

平安時代までの学習では、子どもたちは時代の移り変わりとその時代における様々な人物の活躍について学習してきた。聖徳太子や聖武天皇の政治についての学習では、それぞれの人物が行った施策について知るだけでなく、当時の時代背景などからその政治に込めた思いについても考えることができるようになった。また、資料をもとに当時の人々の暮らしについて追及する力をつけてきた。縄文時代と弥生時代の暮らしについて描いた絵を元に、ふたつの時代の違いについて読み取ったり、平安時代の暮らしや食生活を再現した写真から、国風文化が生まれる基盤になった貴族の生活について理解したりできるようになった。大化の改新についての学習では、蘇我氏を倒し日本の政治を変えるという大きなニュースを伝える新聞の見出しを考えた。中大兄皇子たちの活躍を伝える見出しをつける子がいる一方で、税の負担による農民への影響に触れる子もいるなど、社会的事象に対して多面的に考えられる子が増えてきた。

(2) 教材を選定する

歴史の授業に強い意欲をもつようになった子どもたちが、一番楽しみにしているのは戦国武将たちが登場する安土・桃山時代の学習である。本単元は、その戦国武将たちをはじめとする「武士」の起こりについて学習する。源頼朝や源義経の活躍、元寇の戦いの様子など、時代の動きをつかむおもしろさを感じられる単元であり、子どもたちは一層興味をもって学習に取り組むと考えられる。その反面、鎌倉時代以降は様々な出来事や人物、時代背景などが複雑に絡み合い、理解が難しくなる。そこで、本単元の学習では用語の暗記に終わらない、時代の流れを楽しむことのできる授業にしたいと考えた。子どもたちの主体的に学ぶ姿を大切に、資料を見て気づいたことや考えたことを発表する学習や、調べ学習、学んだことを新聞にまとめる活動などを取り入れていく。このような活動を通して、歴史を学んでいくことの楽しさや時代の動きをつかむおもしろさを実感させていきたい。

(3) 活動を見通す

本単元では武士について知り、その武士が日本の政治の中心になる過程について学んでいく。導入では子どもたちの興味を惹くために、織田信長を始めとする有名な戦国武将たちも、この時代の武士たちが成長していった姿だと伝える。また、武士の暮らしについての想像図を見せ、気づいたことを発表させる。多くの情報が描かれた1枚の絵から気づいたことを発表させ、すべての意見を認めていくことで、楽しく本単元の学習に入っていきたい。武士の政治が始まるきっかけとなる源平合戦については、様々な逸話が残されている。それらを自分たちで調べさせることで、物語やドラマを見るような歴史学習の楽しさを味わわせたい。鎌倉幕府の誕生から幕府の政治についての学習では、覚えなければならないことも多くなる。そこで御恩と奉公の関係についてのエピソードや承久の乱における北条政子の演説の動画を見せることで、堅苦しい学習ではなく、楽しんで学べるようにしたい。そして元寇についての学習では、学んだことをまとめる「鎌倉新聞」をつくる活動を行う。元寇について伝える記事の見出しや当時の御家人たちの投書の内容を考え、友達に発表することで、対話的で深い学びになることをめざしていく。単元を通して出来事や人物の暗記に終わらず、時代の流れや出来事に隠されたストーリーを知り、考えたことをまとめたり発表したりする活動を取り入れていくことで、子どもたちが笑顔で学習するような授業をつくっていきたい。

4 単元構想図 全6時間（本時6／6）

単元前の子どもの姿

歴史学習に興味を持ち、時代の流れや人物の活躍を少しずつ理解できるようになってきた。しかし、鎌倉時代以降の複雑な時代背景や出来事などへの理解に向けては不安な部分も多い。

児童の活動の流れ	
つかむ	<p style="text-align: center;">武士のくらしについて考えよう①</p> <p>○武士のくらしについて描いた絵や写真を見て、気づいたことを発表する。◆1・2</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人だけじゃなくて、馬や牛などの動物がいるね ・弓を打っている人がいるよ ・貴族のくらしとちがって、質素な感じがするね ・家の周りに塀があって、門のところには見張りがいる ・武士は貴族とちがって、自分たちをきたえることが仕事だったのかな <p style="text-align: center;">武士はどんなふうになつて成長していったのかな</p>
	<p style="text-align: center;">源平合戦について知ろう②</p> <p>○源平合戦について調べ学習に取り組む。◆3・4</p> <ul style="list-style-type: none"> ・源氏と平氏は日本の武士のはじまりだったんだね ・運動会の赤白も、源氏と平氏からきているんだ ・源義経は平氏を倒すのに活躍したんだ ・「扇的」の話もすごいね <p>○源平合戦と鎌倉幕府について知る。◆5</p> <ul style="list-style-type: none"> ・源氏と平氏は、天皇や貴族のもとで強くなっていったんだね ・源頼朝は平氏を倒して、鎌倉幕府を開いたんだ <p style="text-align: center;">武士がだんだん成長してきたのがわかったよ。鎌倉幕府ってどんなものなのかな</p>
ふかめる	<p style="text-align: center;">鎌倉幕府について知ろう①</p> <p>○鎌倉幕府について、教科書をもとに学習する。◆6・7</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鎌倉幕府は、武士たちを守る政治をするためにできたんだね ・御恩と奉公の関係が、うまくできていると思ったよ ・「一生懸命」という言葉は、この時代の「一所懸命」という言葉からできているんだね ・鎌倉は海と山に囲まれているんだね。これだと敵も攻めづらいだろうなあ <p>○承久の乱について学習する。◆7</p> <ul style="list-style-type: none"> ・朝廷はやっぱり幕府のことをよく思っていなかったんだね ・北条政子は武士たちの気持ちを引き留めていてすごいなあ <p style="text-align: center;">鎌倉幕府の仕組みはよくできているね。どうして滅亡してしまったんだろう。</p>
	<p style="text-align: center;">元寇について知ろう①</p> <p>○元寇について、教科書をもとに学習する。◆8・9</p> <ul style="list-style-type: none"> ・元はものすごく大きな国だったんだね ・この絵を見ると、日本の武士が苦戦していることがわかるね ・これだけ一生懸命戦っているのに、武士にほうびがなかったのはかわいそうだなあ <p style="text-align: center;">鎌倉幕府が滅亡してしまうことになるなんて、元寇の影響は大きかったんだね</p>
ひろげる・いかす	<p style="text-align: center;">鎌倉新聞の一面記事を考えよう①（本時）</p> <p>○新聞記者になったつもりで、当時の新聞の一面記事の見出しを考える。◆10</p> <ul style="list-style-type: none"> ・元のおそろしさを伝えるために、「10万の大軍 博多に押し寄せる」という見出しにしよう ・わたしは日本が勝ったことを伝えたいから、「神風が日本を勝利に導く」という見出しをつけよう ・「まさかの結末 日本の勝利」という見出しにすれば、日本が勝ったのが奇跡のようだったと伝わるかな。 <p>○当時の武士になったつもりで、新聞の投書を書く。◆11</p> <ul style="list-style-type: none"> ・武士のくらしを守ってくれていた鎌倉幕府がなくなってしまうなんて、残念だなあ ・あれだけ戦ったのにほうびもくれないんだから、ほろびて当然だと思うよ

◆ 教師支援

- ◆1 今後の学習に興味をもたせるために、武士の成長した姿である戦国大名たち（織田信長や徳川家康など）について紹介する。
- ◆2 「描かれているものにはすべて意味がある」を合言葉にして、出た意見はすべて認めていくことで、積極的に意見を出させていきたい。
- ◆3 主体的に学習に取り組ませるために、インターネットや本などを使って源平合戦について調べさせる。
- ◆4 子どもたちが調べたことを中心に、源平合戦について伝えられている逸話（扇的、八艘跳びなど）について伝えることで、学習に興味をもたせる。
- ◆5 学習の中で、平家と強いかかわりをもつ厳島神社や、奥州藤原氏が築いた平泉・中尊寺などの世界遺産についても紹介することで、この時代と現代とのかかわりについても実感させたい。
- ◆6 鎌倉幕府周辺の地形に注目させ、なぜ鎌倉に幕府ができたかを考えさせることで、当時の武士の考えに触れさせたい。
- ◆7 御恩と奉公の関係や承久の乱については、残されているエピソードや北条政子の演説を再現した動画などを紹介することで、理解の手助けにする。
- ◆8 元との戦いについて描いた絵を見せ、気づいたことや思ったことを発表させることで、日本が苦戦した理由に気付かせたい。
- ◆9 絵や写真、地図などの資料を活用することで、元との戦いについて視覚的に理解させる。
- ◆10 元寇について報じる新聞記事の見出しを考えることで、これまで学習してきたことを自分なりに整理させる。また、友達と自分がつけた見出しを紹介し合うことで、理解を深めさせる。
- ◆11 当時の武士になったつもりで鎌倉幕府の滅亡に対する考えを書かせることで、元寇と幕府の滅亡について自分なりにまとめさせたい。

単元後の子どもの姿

当時の人々のくふうや苦労、思いについても考えをめぐらせることができるようになる。そして、歴史学習に興味を持ち、時代の流れと出来事、人物の活躍を結び付けて考えることができるようになる。

5 本時の学び

(1) ねらい

- ・元寇についての新聞記事の見出しを考える活動を通して、元との戦いの様子やその影響について理解を深める。
(観察・資料活用の技能)

(2) 展 開

○学習活動 ・子どもの発言や思い	◆子どもに期待する姿と支援 ・留意点 ◎評価
<p>○元寇についておさらいする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・元の大群が、2度にわたって日本に攻めてきた ・最初は火薬を使った武器や、元の集団戦法に苦戦したんだよね ・日本は執権の北条時宗が中心となって、なんとか元の攻撃をしのいだよ 	<ul style="list-style-type: none"> ・前時に学習した元寇の内容についてペアで確認させることで、本時の授業に入りやすくさせる。【対】 ・クイズ形式で元寇について確認することで、短い時間で要点を押さえていく。
<p>「鎌倉新聞」の1面記事を考えよう</p>	
<p>○自分が鎌倉時代の新聞記者だったら…という設定のもと、元寇についての記事の見出しを考え、発表させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ新聞みたいに「日本 苦しみながらの勝利」という見出しにすれば、みんなわかりやすいかな。 ・元のおそろしさを伝えるために、「元の大軍 博多に押し寄せる」という見出しにしようかな ・私は日本が勝ったことを伝えたいから、「神風が日本を勝利に導く」という見出しをつけたよ ・元の集団戦法や火薬などが日本の武士たちを苦しめたと伝えたいから、「元の戦法 日本を苦しめる」という見出しにしたよ。 ・「まさかの結末 日本の勝利」という見出しにすれば、日本が勝ったのが奇跡のようだったと伝わるかな。 <p>○クラスの「ベスト見出し」を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・〇〇さんの見出しは、元の強さがとてもわかりやすいので、ベスト見出しだと思いました <p>○鎌倉幕府の滅亡について考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鎌倉幕府は北条時宗を中心にして、元の攻撃を2度も防いだのに、滅亡してしまったのは残念だなあ ・必死に戦った御家人たちに土地を与えられなかったんだから、御恩と奉公の関係も崩れてしまっているし、滅亡してしまったのも仕方ないよね ・鎌倉幕府が滅亡してしまったから、武士の暮らしを守ってくれる人がいなくなってしまうよ。これからどうなってしまうのかなあ。 <p>○本時の振り返りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・私は元が強かったことを伝えるための見出しを考えていたけれど、〇〇さんは日本の強さについて書いていて、いろいろな考え方があったんだなと思いました。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆鎌倉時代に新聞は無かったとされているが、「もし新聞があって、自分が新聞記者だったら…」という設定を与えることで、活動に対する意欲をもたせたい。【主】 ◆鎌倉時代や元寇についてこれまでに学習してきた内容を自分の言葉でまとめさせるために、記事の見出しを考えさせる。【主】 ・見出しが思い浮かばない子には、記事の本文の内容をヒントに考えるよう声をかける。 ◆自分が考えた見出しを紹介し合うことで、1つの歴史的な事象に対しても様々な捉え方があることを実感させたい。【対】 ・クラスのベスト見出しとその理由を考えさせることで、楽しい気持ちで元寇についての理解を深めさせたい。 ◆新聞の投書欄に御家人から投稿があった、という設定をつくることで、元寇と鎌倉幕府の滅亡のつながりについて主体的に考えさせる。【主】 ・幕府に対するうらみだけでなく、幕府という存在は武士たちにとっては重要なものだったということを押さえさせたい。 ◆当時の御家人の気持ちを想像させることで、自分の考えをもつことにつなげさせたい。 ◎元寇について新聞にまとめる活動を通して、元との戦いの様子やその影響について理解を深めることができたか。 (ワークシート・ふりかえり)